

第10回 泉中学校統合準備委員会 会議録

日時	令和3年2月4日（木）19時00分～19時31分
場所	泉市民館 集会室
出席者	委員（30名） 山内敏久委員、清田康一委員、西川伯明委員、久保山彰之委員、渡辺勝人委員、藤村巳好委員、浅井恵一委員、松本秀志委員、坂腰実利委員、榊原修平委員、井本秀昭委員、神谷具佑委員、川合三奈委員、北野祐樹委員、藤村正人委員、小野和良委員、彦坂辰夫委員、渡邊康良委員、渡邊真希委員、高木美代子委員、小久保通弘委員、太田裕樹委員、鈴木孝幸委員、福井恒芳委員、小久保浩明委員、渥美謙一委員、山本忠史委員、岩田真委員、古越俊光委員、森下しのぶ委員 事務局（10名） 鈴木教育長、増山教育部長、伊藤教育総務課長、渡邊学校教育課長、大羽企画課長、鈴木地域課長、宮本赤羽根市民センター所長、吉口学校教育課指導主事、中村教育総務課課長補佐兼係長、彦坂教育総務課主査、藤井教育総務課主任
欠席者	本多昌仁委員、槇田尚弘委員
傍聴者	なし
	《資料確認》
事務局	配布資料の確認 ・ 次第 ・ 統合準備委員会委員名簿 ・ 資料1 第3回総務部会 ・ スクールバス運行予定経路 ・ 参考資料 これまでの経緯 ・ 第9回統合準備委員会会議録
	《開会》
事務局	ただいまから第10回泉中学校統合準備委員会を始めさせていただきます。 なお、会議につきましては公開としておりますので、よろしくお願いいたします。 それでは、議事に入ります。ここからの議事の取り回しにつきましては、設置要綱第6条によりまして、山内委員長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。
委員長	皆さん、こんばんは。 新型コロナウイルス関連で、緊急事態宣言が3月7日まで延長されました。現在の感染者は減少傾向ではありますが、非常に苦しい状態であります。早く通常の生活に戻れることを願っております。3月13日の閉校式に向けて、万全の準備を進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。 それでは、ここからは私のほうで会議を進行させていただきますので、円滑な議事進行に皆様のご協力をお願いいたします。今回は、総務部会において検討された事項につきましての協議を行ってまいります。

	それでは、議題（１）総務部会からの提案事項についてということで、総務部会長さんから説明をお願いします。
総務部会長	総務部会長を務めております、泉中学校長の小久保でございます。 ９月に開催されました第９回の統合準備委員会の際には、閉校式典に向けて、同窓生を募って内容を検討していくこと、それから、開催等々の基準につきまして決議をいただきましたけれども、その後、田原市内のコロナ感染の状況も、随分と変わってまいりました。現在、緊急事態宣言も発令中ということで、変更を余儀なくされることになりました。 １月21日に総務部会を開きまして、開催基準につきましての変更について検討しました。それから、それに伴い式典内容の縮小案のほうも検討し、話し合いをしてまいりました。本日、その案について提案をさせていただき、決議のほうをお願いしたいと思います。 加えて、４月以降の出発式につきましても、提案をさせていただきますので、よろしくご審議ください。 それでは、説明をお願いします。
委員	失礼します。泉中学校の渥美といいます。よろしくお願いします。 資料１をご覧ください。 まず進行状況のほうから簡単に説明させていただきます。 １番、卒業記念品・記念物等に関することにつきましては、同窓会の事務局が中学校から小学校へ移りますので、関連の物品も小学校へ移動するというので、同窓会及び小学校のほうと話が進んでおります。 ２番、記念誌・記念式典に向けた検討・準備ですけれども、記念品関係につきましては記念誌、それから記念DVDを用意しておりますけれども、どちらも順調に製作が進んでおりまして、２月中には納品される予定でおります。 ３番、学校用品に関することですけれども、こちらのほうは４月、５月の休校中に、全て赤羽根中とも内覧会というか、そういうことも開きまして、何を移すかは決まっており、もう既に一部の物品については、赤羽根中のほうに運んであります。それから、今後赤羽根中へ運ぶものにつきましては、泉中のほうでいろいろ整理をしていって、３月29日には運送業者を使って移動をする予定であります。 続けて、協議事項のほうをお願いします。 今日協議していただきたいことは、大きく２点あります。 まず１つ目、実施判断基準の変更についてであります。上の四角の内容が前回の統合準備委員会で、皆様方に承認をいただいた内容になります。その後、田原市においても感染者が何名か出ておりますけれども、実際のところ、どこの校区で感染者が出たということは、全く情報として入って来ませんので、この「泉校区で感染者が出た場合」というところが使えません。 そこで、この項目を判断基準から外していただきたいということが１点。もう１点、現在緊急事態宣言中ではありますが、小中学校においては対策を取りな

	がら教育活動を続けておりますので、記念式典においても、対策をきちんと取れば実施が可能であると考えます。この2点の理由から、変更案「愛知県に緊急事態宣言が発令されていた場合、閉校式典は規模を縮小し実施するが、イベントは中止とする」という基準に変更をしたいと考えますので、ご審議をお願いします。 続けて協議の2つ目のほうをお願いします。 実施判断基準変更に伴う実施案についてということですが、記念式典のほうを、より今の状況に合った内容にするために、人数の縮小、それから時短という方向で見直しをしたものを提案させていただきます。 開催日時には、変更ありませんけれども、当初は式典自体を1時間程度の案で考えておりましたが、これを半分ほどの内容にしたいというふうに考えております。 変更する部分につきましては、緊急事態宣言発令中の縮小実施のほうのみ説明させていただきます。 まず、参加者数について、前回400人程度ということで承認をいただきましたけれども、より席と席との間隔をとれるように、230人程度としたいと考えております。 縮小する部分につきましては、②番の統合準備委員は、当初泉校区の統合準備委員の方を皆さんと思っておりましたが、山内委員長お一人にさせていただくことで縮小を図りたいと思います。 ⑨番の歴代PTA会長のほうも、縮小案の場合は、統合準備委員会を発足してから、この3年間のPTA会長の3名に縮小。 ⑩番の保小中高各校長、園長につきましても、赤羽根中学校の古越校長先生のみというふうに縮小を図ります。 あと、⑬番の一般同窓生200人を、77人というふうにありますけれども、こちらの200人のほうにつきましては、現在校区回覧を使って全世帯に申込書を配っており、各世帯から希望される同窓生お一人で上限200人。これを超える場合は、抽選とさせていただきますということで、上限人数を決めております。これを77人に縮小というのは、泉中学校生徒の保護者の世帯数であります。この縮小案につきましては、直前にどんなことが起きるかわかりませんので、なるべくすぐに連絡が届く相手のほうが望ましいというふうに考えますので、緊急事態宣言下においては、泉中学校生徒の保護者の世帯からお一人で77人という形で、参加人数の縮小を検討しております。 それから、式典の内容につきましては、当初1時間ということでしたが、そのうちの時間の大半を占めておりましたのが、生徒による泉中学校の歴史発表と、参加同窓生の思い出交流で、この2つで30分になります。内容的にも複数の人間が、たくさん人が集まって話をしますので、そういった内容で、式典1時間中の30分を占めるのは、今の状況で適切ではないというふうに考えまして、この生徒の思い出発表と同窓生による思い出交流のほうは、式典のほうから出して、その後で行われるイベントのほうに入れるという形を取りたいというふうに思います。これによって、式典自体は30分以内で終わることができるというふうに考えております。
--	---

	それから、協議事項ではありませんけれども、前回検討事項として残っていた内容が3点ありまして、1つ目に、パブリックビューイングということも前回検討事項として残しておりましたが、これにつきましては、人数制限を行いますので、立ち見等が出てくることはほぼないかなと考えておりますので、検討の必要がなくなりました。 それから、2つ目、式典に関する案内・告知につきましては、校区につきましては現在回覧を使って全戸配布で回しております。市の関係の方につきましては、この後、改めて案内のほうを出したいと思っています。 それから、最後3つ目に、雨天案の作成ということで、外で雨に濡れる方が出ては申し訳ないなというようなことを考えていたわけなんですけれども、現状、雨が降っても屋根の下に全員収まるだろうということで、こちらのほうも検討の必要がなくなったということをお伝えします。
委員長	続けて、出発式の案について、説明をお願いしたいと思います。
総務部会長	それでは、出発式については、赤羽根中学校へ子ども達が登校してから開催されますので、赤羽根中学校のほうから提案をお願いします。
委員	失礼します。赤羽根中学校の森下といいます。よろしくお願いします。出発式について、提案させていただきます。 ねらいとしまして、赤羽根中学校と泉中学校が統合し、新しい赤羽根中学校になるということを意識した会を目指しております。一緒になり、さらにすばらしい中学校を目指していこうという思いを子ども達が発表するような会にしたいと考えています。 日時につきましては、令和3年4月23日です。この日にPTA総会を行いますので、それに合わせて、PTAの方にも子ども達の姿や決意を見ていただけるような、そんな会にしたいと思います。 次第につきましては、今のところ、子ども達がパフォーマンスを各学級で発表したり、生徒会が発表したりというふうに考えているんですけども、内容につきましては、また今後、子ども達や生徒会役員達と検討していく予定になっております。 一番は、新しい赤羽根中学校を一緒につくっていこう、そんな思いを伝える会にしたいと考えておりますので、よろしくお願いします。 以上です。
委員長	ありがとうございます。 ただいま、総務部会から説明がありました。 ご質問、ご意見はございますでしょうか。 よろしいですか。 では、お諮りします。 総務部会の案にご異議ございませんか。
委員	異議ありません。
委員長	ご異議ないようですので、総務部会の案で進めてください。

	協議事項については、以上です。 それでは、続いてその他ですが、事務局から何か連絡事項がありましたらお願いします。
事務局	それでは、事務局のほうから2点お願いいたします。 まず1点目ですが、お手元に配付させていただきました、スクールバスの運行予定経路の資料をご覧ください。 まず、スクールバスの運行業務委託につきましては、入札の結果、豊鉄バス株式会社が落札しておりますので、4月から豊鉄バスが運行業務を行います。そちらの資料の右下に、バスの写真をつけてございます。このバスが、今後登下校で運行されますので、よろしくお願いいたします。 次に、バスの停留所及び駐輪場についてですが、既にお認めいただいたとおり、変更箇所はございませんが、夕陽が浜西公園の停留場所の舗装工事と駐輪場の設置工事につきまして、現在工事に入っております。3月中旬には完了の見込みとなっております。工事期間中、地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。 また、スクールバスの運行ルートについて、赤羽根中学校から下校する際ですが、資料中、緑色の復路というコースがございます。登校する際は、赤色と青色のラインで、中村の信号を右折して赤羽根中学校に来るんですが、帰りにつきましては、左折をするスペースに、安全の確保が不安だということで、J Aの赤羽根のガソリンスタンドがある信号まで行きます。そこから緑のルートを通して、石神線に戻って下校するといったルートを取らせていただきます。数分の時間差でございますが、そちらのほうで対応したいと考えております。 また、泉中学校に来るスクールバスの進行方向、それから停車方法についてですが、登校の際、待っている生徒の安全を考慮しまして、バス会社と調整を今後した上で、学校及び生徒に周知をまいりますので、よろしくお願いいたします。 続いて、2点目は、お礼でございます。 泉中学校の統合準備委員会につきましては、今回のこの第10回をもって最後となります。平成29年の7月に設置されまして、約3年半にわたり、子ども達にとってよりよい学校の実現に向けて、様々な事柄について話し合いを進めてまいりました。この3年半で協議、決定した事項は数多くございますが、各部会での協議や学校間での事前調整がなければ、統合という大きな問題に対して、より良い方向に進んでいかなかったと思います。 至らぬ点が多々あった事務局ではございますが、皆様方のご理解、ご協力のおかげで無事本日を迎えました。長きにわたりお付き合いいただきまして、誠にありがとうございました。 事務局としては、以上でございます。
委員長	事務局から2点ほどありました。スクールバスの運行予定計画について、何か聞いておきたいこととか、これはというのがありましたらお願いします。

	市のほうと、それからバス会社のほうで十分検討されたと思いますので、よろしいかと思いますが。 復路が変わるのは、ここの信号は帰りのときに曲がれないんじゃないかなということでもいいですか。
事務局	はい。信号待ちしている車がなければ曲がれるんですが、停止線の協議もこれから始めますので、その辺も含めて、当面の間は、う回をさせていただくということです。
委員長	ご質問等ありませんか。 ないようですので、これで進めてください。 先ほど、事務局からもありましたけれども、今回が統合準備委員会として最後の会となります。 ここにお集まりの委員、お一人お一人からご挨拶をいただきたい気持ちはやまやまなんですけど、こういった緊急事態宣言の中で、時間短縮で会議を進めなければなりません。本当に申し訳ないのですが、各部会を代表して、各部会長さん方から一言ずつ、ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。 まずは通学・安全部会の清田部会長さん、お願いします。
通学・安全部会長	通学・安全部会の部会長の清田です。よろしくお願いします。 自治会の代表として、今年度部会長を務めさせていただきました。今、事務局の方でも言われたとおり、スクールバスのルートや駐輪場、バス停も整備されました。皆さんのおかげだと思っております。 来月の3月4日、5日のときに、スクールバスが通る道に出ている木の伐採を行う予定でいますので、また、通行のときにちょっと不便をかけるかと思いますが、よろしくお願いします。 1年間ありがとうございました。
委員長	ありがとうございました。 次に、総務部会の小久保部会長さん、お願いします。
総務部会長	総務部会長を務めました、小久保でございます。 赴任以来3年間、最初の統合準備委員会のときには、長いな、何も決まっていなかったなという思いがありますけれども、閉校式までは40日を切り、統合までは50数日という段階になってまいりました。 この間、子ども達が、赤羽根中学校へ行っても、それから社会に出ても、たくましく未来を開いていける、そういう子どもをつくりたいなと思って3年間やってまいりましたし、閉校に向けては、地域住民の方、それから何といても同窓生の方の思いが達成できるような、閉じ方をしたいなということで、四苦八苦してまいりました。 まだまだ十分ではありませんけれども、最後の仕上げをしていきたいと思っております。残りは少ないですけれども、ご支援のほうをよろしくお願いいたします。3年間ありがとうございました。

委員長	ありがとうございました。 次に、P T A部会及び学校運営委員会の古越部会長、お願いいたします。
P T A 部 会・学校運 営部会長	赤羽根中学校、古越です。 私は本年度からこの学校のほうに勤務するということで、P T A部会、学校運営部会の決定事項につきましては、ほとんどこの会で申し上げることがございませんでした。本当に計画的に、平成30年度にはほとんど骨子が決まり、そこに準備委員会を含め、いろいろな会議がなされていて、ほとんどのものが決まっておりました。本当に早めに計画的に今年度まで進めてきたことを伺って、仕事するのにつきましても大きな不安が取れております。 ただ、やはり、ここで決まったことというのは、とても重要なことだということとはとても感じております。前任校の童浦小学校でも、地区の方と話をすると、統合時の約束だからという言葉が出てきます。そのことをまた肝に銘じて、本校のほうでもやはり申し送っていくのと同時に、また地区の方で温かく、厳しく、その辺の約束について見守っていただけたらと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。
委員長	ありがとうございました。 次に、鈴木教育長さんがお見えですので、ご挨拶をいただきたいと思います。お願いします。
教育長	教育長の鈴木でございます。 最期に、お礼を述べさせていただいてということで、お話したいと思います。 委員の皆様方には、本日の会合を含め、これまで泉中学校と赤羽根中学校の統合に向けて数多くの会議にご参加いただき、そして熱心にご協議いただきましたことに、まずもって感謝申し上げたいと思います。 本統合準備委員会は、先ほど事務局の説明にもありました平成29年7月より開催し、統合に向けての課題を明確にするとともに、その解決策について丁寧に協議を進めてまいりました。また、4つの専門部会で具体的な方策を練り上げていただいたことで、統合へ向けての着実な歩みを進めることができたと思っております。関係いただいた全ての皆様に感謝をいたしたいと思います。 とりわけ、本委員会の山内委員長には、会の立ち上げの段階から、ずっと委員長としてリードしていただきました。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。 さて、3月13日の泉中学校閉校記念式典まで、あと1か月余りとなりました。新型コロナウイルスの感染状況が心配ではありますが、何とか皆様の心に響く式典が実施できることを願っております。そして、4月から新生赤羽根中学校が、子ども達と校区の皆様の夢と希望を乗せて、新たな未来に向けてスタートしていくことを願っております。 統合準備委員会は本日で閉じますが、そして、新しい校区の形に生まれ変わっていきますが、皆様には今後も中学校への温かいご支援とご協力を賜りますようよろ

	しくお願いします。 以上、簡単ではございますが、皆様へのお礼の気持ちをお伝えすることでご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。
委員長	ありがとうございました。 それでは、最後になりますけれども、私から一言お礼を申し上げます。 3年間、委員長という難しい役を一生懸命やってきたつもりですが、皆さんは1回もいがみ合ったり、大きな声を出すこともなく、何とか仕上げることができました。この委員会に関わり、新しい赤羽根中学校の礎を作ることができたことは、大変うれしく思います。 今までいろいろな会議に出てきた中で、まとまって1つのものをつくり上げられたのは、このメンバーの方々だったからだと思っております。皆さんには本当に感謝の気持ちでいっぱいであります。 ご協力、大変ありがとうございました。 以上をもちまして、長期にわたり協議を進めてまいりました泉中学校統合準備委員会を終了いたします。皆さん、大変お疲れさまでした。